

ENGINE LUBRICATION & COOLING SYSTEMS

LC エンジンlubrication&クーリング

LC

目次

概要・作業上の注意、準備品	LC- 2
概要	LC- 2
液体ガスケットの塗布部品	LC- 2
特殊工具	LC- 2
汎用工具	LC- 2
一般計測機器	LC- 2
油脂及びその他	LC- 2

RB26DETT

オイルポンプ	LC- 3
オイルフィルターブラケット、水冷式オイルクーラー	LC- 7
標準車	LC- 7
オイルフィルターブラケット	LC- 9
N1仕様車	LC- 9
空冷式オイルクーラー	LC-11
N1仕様車	LC-11
ラジエーター	LC-13
クーリングファン	LC-15
補助電動ファン	LC-16
ウォーターポンプ	LC-17
サーモスタット、ウォーターインレット	LC-20

概要

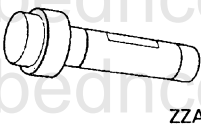
ここでは、RB26DETTエンジン搭載車について記載する。

液体ガスケットの塗布部品

- 以下の部品は取り付け時、液状ガスケットを接合箇所に塗布する。
塗布要領は、「EM編作業上の注意、液状ガスケット塗布要領」の項参照のこと。

部品名	使用液状ガスケット
ウォーターポンプ	スリーボンド1218B (KP710 00150)
オイルプレッシャーSW	
油温センサー	
ウォーターインレット	
シリンダーブロックドレンプラグ	スリーボンド1386B 相当

特殊工具

名 称	用 途	備 考
オイルシールドリフト KV401 00900  ZZA0012D	フロントオイルシール 取り付け	既 設

汎用工具

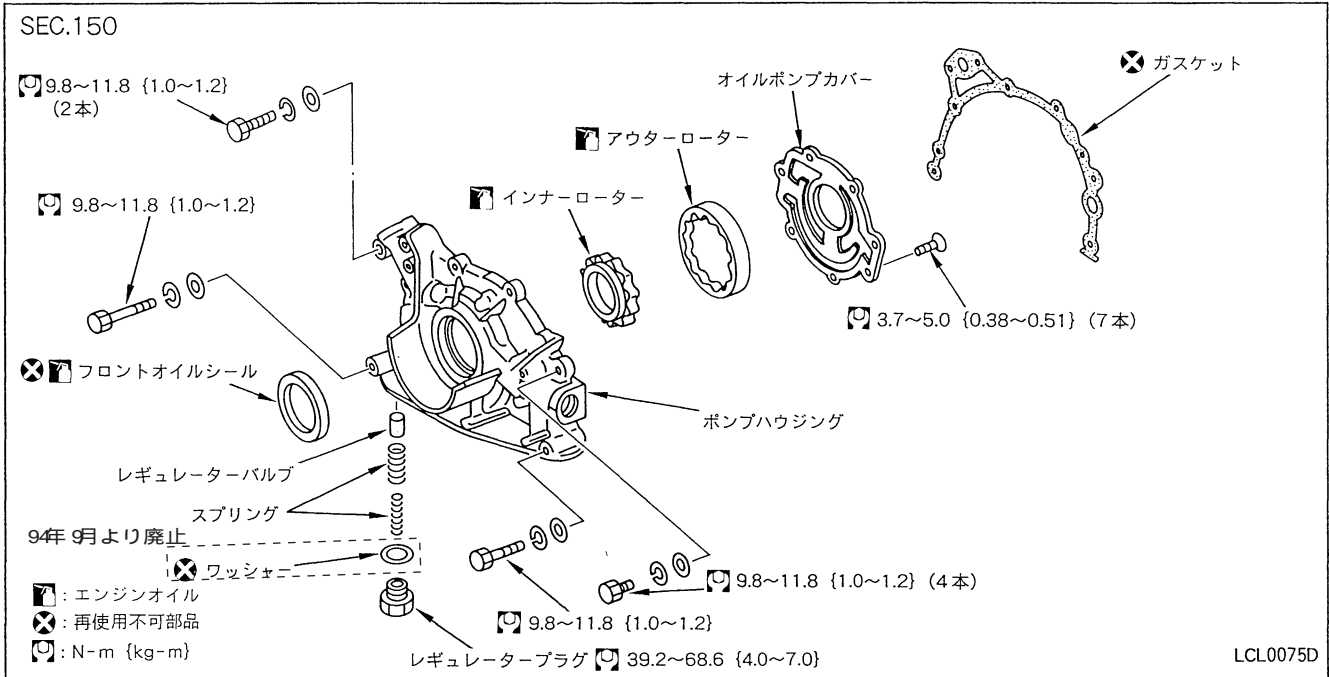
チューブプレッサー (WS3993)	液状ガスケット塗布	既 設
--------------------	-----------	-----

一般計測機器

名 称	用 途
温度計	水温測定
シクネスゲージ	クリアランス点検
ストレートゲージ	クリアランス点検
マイクロメーター	クリアランス点検
インサイドマイクロメーター	クリアランス点検

油脂及びその他

名 称	用 途
スリーボンド1218B(KP710 00150)	各部シール
スリーボンド1386B相当	シリンダーブロックドレンプラグシール

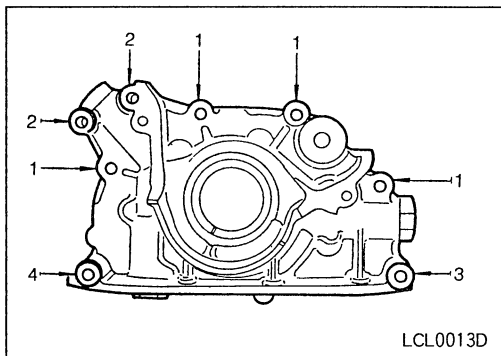


取り外し

1. エンジントランスミッションASSYを取り外す。
(「EM編エンジン脱着」の項参照)
2. エンジンからトランスミッションを取り外し、エンジンスタンド
(特殊工具) に、取り付ける。
(「EM編シリンダーブロック」の項参照)
3. エンジンオイルをオイルパンから抜き取る。
4. クーリングファンを取り外す。(「クーリングファン」の項参照)
5. 補機ベルトを取り外す。
(「MA編主な点検調整要領補機ベルト」の項参照)
6. タイミングベルトを取り外す。
(「MA編交換部品整備要領タイミングベルト」の項参照)
7. クランクタイミングプーリーを取り外す。
(「MA編交換部品整備要領タイミングベルト」の項参照)
8. タイミングベルトリヤカバーを取り外す。
(「MA編交換部品整備要領タイミングベルト」の項参照)
9. オイルパンを取り外す。
(「EM編オイルパン、オイルストレーナー」の項参照)
10. オイルストレーナーを取り外す。
(「EM編オイルパン、オイルストレーナー」の項参照)
11. オイルポンプASSYを取り外す。

取り付け

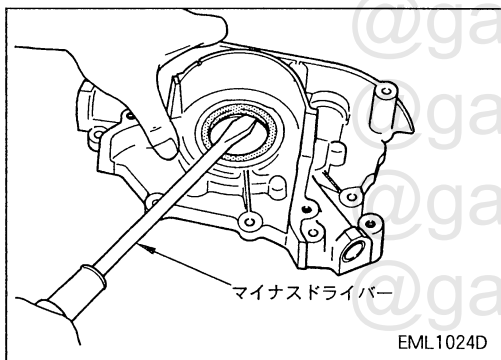
1. オイルポンプを取り付ける。
 - オイルポンプ、シリンダーブロックに付着した古いガスケットをスクレーパーで取り除く。
 - ホワイトガソリンで取付面を清掃し、オイル、水、ゴミを完全に取り除く。
 - ガスケットは新品と交換する。
 - シリンダーブロック側のノックピンに合わせて取り付ける。
 - オイルポンプ取付ボルトは4種類あるので注意する。



取付位置	本数(本)	取付ボルト首下寸法(mm)
1	4	20
2	2	35
3	1	45
4	1	55

締付トルク (N-m [kg-m]) : 9.8 ~ 11.8 {1.0 ~ 1.2}

2. 以下は取り外しと逆の手順で取り付ける。



分解

1. フロントオイルシールを取り外す。
 - ドライバーなどを用いて取り外す。
- 注意 : オイルポンプハウジングに傷をつけないこと。
2. オイルポンプカバーを取り外す。
 3. インナーローター、アウターローターを取り外す。
 4. レギュレータープラグを外し、スプリング、レギュレーターバルブを取り外す。

点検

オイルポンプ目視点検

- インナーローター、アウターローター、オイルポンプハウジングに傷、摩耗がないか点検する。
- 異常がある場合はオイルポンプASSYを交換する。

オイルポンプ各部クリアランス点検

- シックネスゲージを用いて各部のクリアランスを測定する。

アウターローターとオイルポンプハウジングのクリアランス

- シックネスゲージを用いて、アウターローターとオイルポンプハウジングのクリアランス (1) を測定する。

基準値 (mm) : 0.11 ~ 0.2

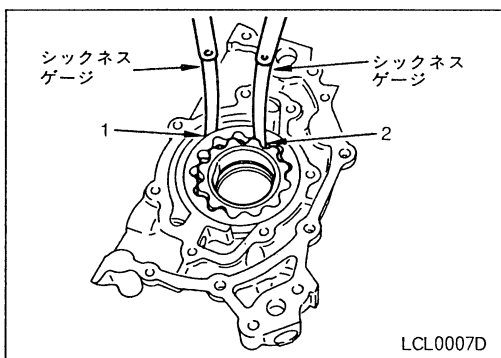
- 基準値を外れた場合は、オイルポンプASSYを新品と交換する。

アウターローターとインナーローターのチップクリアランス

- シックネスゲージを用いて、アウターローターとインナーローターのチップクリアランス (2) を測定する。

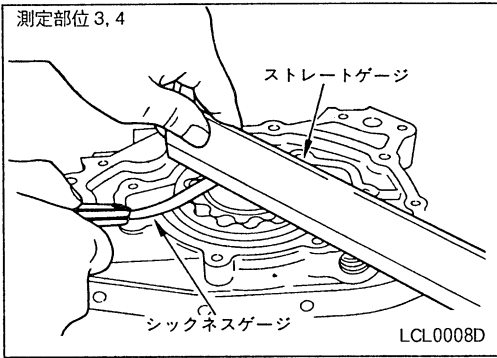
基準値 (mm) : 0.18以下

- 基準値を外れた場合は、オイルポンプASSYを新品と交換する。



点検 (続き)

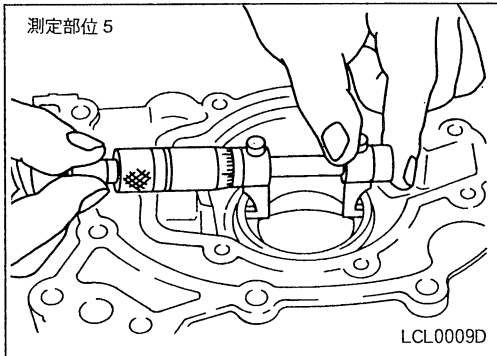
インナーローター、アウターローターとオイルポンプハウジングとのサイドクリアランス



- ストレートゲージとシックネスゲージを用いて、インナーローター (3) アウターローター (4) とオイルポンプハウジングとのサイドクリアランスを測定する。

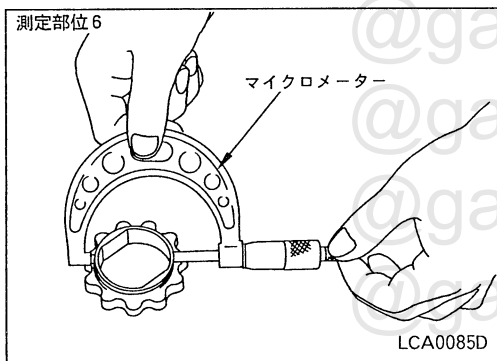
基準値 (mm) : インナーローター 0.05 ~ 0.07
アウターローター 0.05 ~ 0.11

- 基準値を外れた場合は、オイルポンプASSYを新品と交換する。



インナーローターとオイルポンプハウジングのインロー部クリアランス

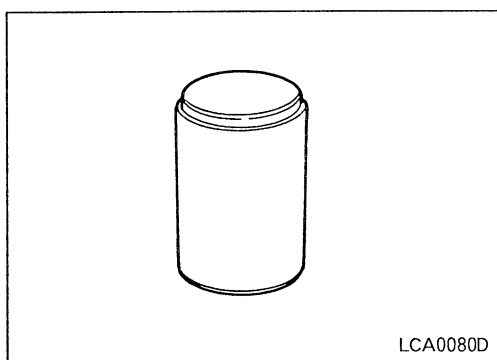
- 以下の方法でインナーローターとオイルポンプハウジングのインロー部のクリアランスを算出する。
- インサイドマイクロメーターを用いてオイルポンプハウジングインロー部内径 (5) を測定する。



- マイクロメーターを用いて、インナーローターインロー部外径を測定する。(6)
- オイルポンプハウジングインロー部内径 (5) からインナーローターインロー部外径 (6) を差し引く。

基準値 (mm) : 0.045 ~ 0.091

- 基準値を外れた場合は、オイルポンプASSYを新品と交換する。



レギュレーターバルブ目視点検

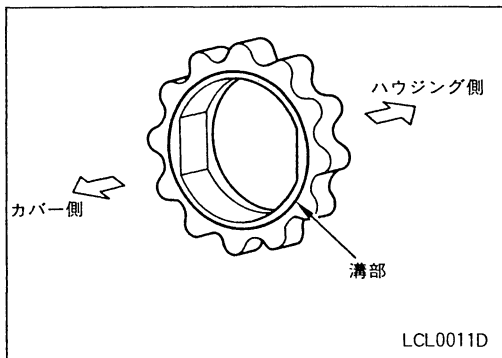
- レギュレーターバルブしゅう動面に傷がないか点検する。
- レギュレータースプリングに異常がないか点検する。
- 異常がある場合はレギュレーターバルブ又はオイルポンプASSYを交換する。

レギュレーターバルブとオイルポンプハウジングのオイルクリアランス

- オイルポンプハウジングのレギュレーターバルブ穴内径からレギュレーターバルブ外径を差し引く。

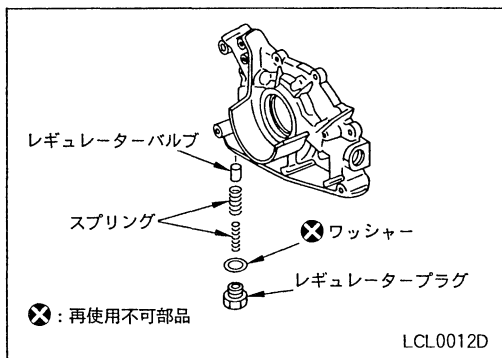
基準値 (mm) : 0.040 ~ 0.097

- 基準値を外れた場合は、オイルポンプASSYを新品と交換する。

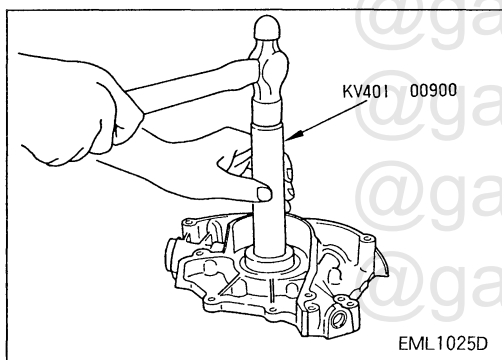


組み立て

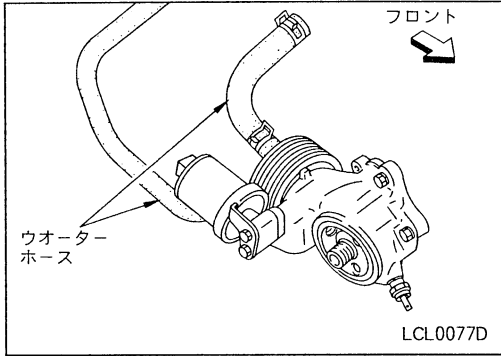
1. インナーローター、アウターローターを取り付ける。
 - 各回転部、しゅう動部にエンジンオイルを塗布して取り付ける。
 - インナーローターは溝部をカバー側に向けて取り付ける。



2. オイルポンプカバー取付スクリューを均等に締め付ける。
 締め付トルク (N-m {kg-m}) : 3.7 ~ 5.0 {0.38 ~ 0.51}
3. レギュレーターバルブを取り付ける。
 - しゅう動面にエンジンオイルを塗布する。
 - レギュレーターワッシャーは新品と交換する。
 - レギュレータープラグを締め付ける。
 締め付トルク (N-m {kg-m}) : 39 ~ 69 {4.0 ~ 7.0}



4. フロントオイルシールを取り付ける。
 - オイルシールは新品と交換する。
 - オイルシール外周に傷、マクレがないこと。
 - オイルシールの文字を外側（フロント側）にする。
 - オイルシールドリフト（特殊工具）を用いて、オイルポンプのオイルシール取付部端面と均一になるまで圧入する。
 - オイルシールリップ部全周にエンジンオイル又はシャシーグリースを塗布する。



取り外し (続き)

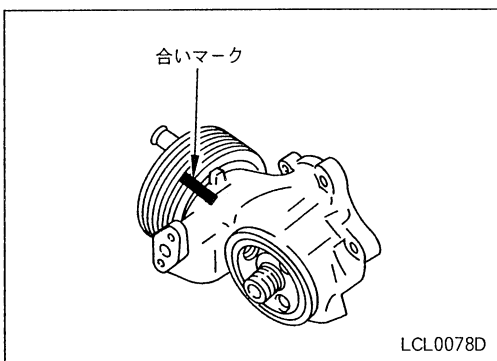
8. オイルプレッシャースイッチコネクター、油温センサーコネクターを外す。
9. ウォーターホース (2本) をオイルクーラー側で外す。
10. オイルフィルターブラケット・オイルクーラーASSYを取り外す。
11. ガasketを取り外す。

取り付け

1. オイルフィルターブラケット、オイルクーラーASSYを取り付ける。
 - ガasketは新品と交換する。
 - Oリングは新品と交換する。

締付トルク (N-m {kg-m}) : 16 ~ 21 {1.6 ~ 2.1}

2. ウォーターホース (2本) を取り付ける。
 - クランプを確実に締め付ける。
3. オイルフィルターを取り付ける。
(「MA編交換部品整備要領オイルフィルター」の項参照)
4. 以下は取り外しと逆の手順で取り付ける。
5. エンジン油量、冷却水量を点検する。
(「MA編点検整備要領潤滑装置、冷却装置」の項参照)
6. エンジンを始動し、エンジンオイル、冷却水の漏れがないか点検する。(「MA編点検整備要領潤滑装置、冷却装置」の項参照)
7. 冷機後、再度エンジン油量、冷却水量を点検し、不足していれば補充する。



分解

1. オイルプレッシャースイッチを取り外す。
2. 油温センサーを取り外す。
3. オイルフィルターブラケットからオイルクーラーを取り外す。
 - オイルフィルターブラケットとオイルクーラーに合いマークをつけて取り外す。

点検

オイルフィルターブラケット目視点検

- き裂、損傷によるオイルの漏れがないか点検する。
- 異常がある場合はオイルフィルターブラケットを新品と交換する。

オイルクーラー点検

- オイルクーラーに詰まりがないか点検する。
- 異常がある場合はオイルクーラーを新品と交換する。

組み立て

1. オイルクーラーをオイルフィルターブラケットに取り付ける。
 - Oリングは新品と交換する。
 - 分解前に付けたオイルクーラーとオイルフィルターブラケットの合いマークを合わせて、アイボルトを締め付ける。

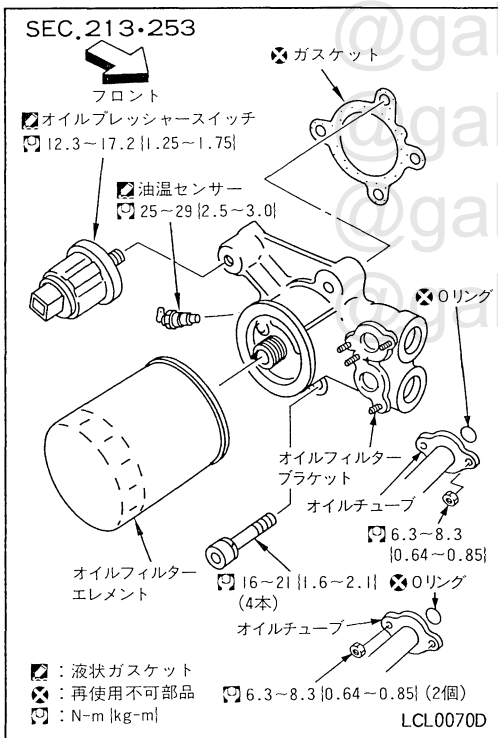
締付トルク (N-m [kg-m]) : 34 ~ 44 {3.5 ~ 4.5}

2. オイルプレッシャースイッチ、油温センサーを取り付ける。
 - ネジ部にスリーボンド1218B (KP710 00150) を塗布して取り付ける。

締付トルク (N-m [kg-m])

: 12.3 ~ 17.2 {1.25 ~ 1.75} (オイルプレッシャースイッチ)

: 25 ~ 29 {2.5 ~ 3.0} (油温センサー)



オイルフィルターブラケット
N1仕様車

取り外し

1. トランクルーム内のバッテリーマイナス端子を外す。
2. アンダーカバーを取り外す。
3. 作業スペースを作るため、以下の部品を取り外す。
 - ストラットタワーバー (「BE編フロントストラットタワーバー」の項参照)
 - アクセルケーブル (「FE編アクセルコントロールシステム」の項参照)
 - アクセルケーブルブラケット (「EM編インテークマニホールドコルクター」の項参照)
4. 作業スペースを作るため、以下の部品を移動する。
 - フューエルフィルター、フューエルフィルターブラケット (「MA編交換部品整備要領フューエルフィルター」の項参照)
 - メインハーネス (スターターモーター~リレーケース間)
5. オイルフィルターを取り外す。
(「MA編交換部品整備要領オイルフィルター」の項参照)
6. オイルプレッシャースイッチコネクター、油温センサーコネクターを外す。
7. オイルチューブ (2本) をオイルフィルターブラケットから外す。
8. オイルフィルターブラケットを取り外す。
9. ガasketを取り外す。
10. オイルフィルターブラケットからオイルプレッシャースイッチ、油温センサーを取り外す。

点検

オイルフィルターブラケット目視点検

- き裂、損傷によるオイルの漏れがないか点検する。
- 異常がある場合はオイルフィルターブラケットを新品と交換する。

取り付け

1. オイルプレッシャースイッチ、油温センサーを取り付ける。
 - ネジ部にスリーボンド1218B (KP710 00150) を塗布して取り付ける。

締付トルク (N-m {kg-m})

- ： 12.3 ~ 17.2 {1.25 ~ 1.75} (オイルプレッシャースイッチ)
- ： 25 ~ 29 {2.5 ~ 3.0} (油温センサー)

2. オイルフィルターブラケットを取り付ける。

- ガasketは新品と交換する。
- Oリングは新品と交換する。

締付トルク (N-m {kg-m}) : 16 ~ 21 {1.6 ~ 2.1}

3. オイルチューブ (2本) を取り付ける。

締付トルク (N-m {kg-m}) : 6.3 ~ 8.3 {0.64 ~ 0.85}

4. オイルプレッシャースイッチコネクタ、油温センサーコネクタを接続する。

5. オイルフィルターを取り付ける。

(「MA編交換部品整備要領オイルフィルター」の項参照)

6. 以下は取り外しと逆の手順で取り付ける。

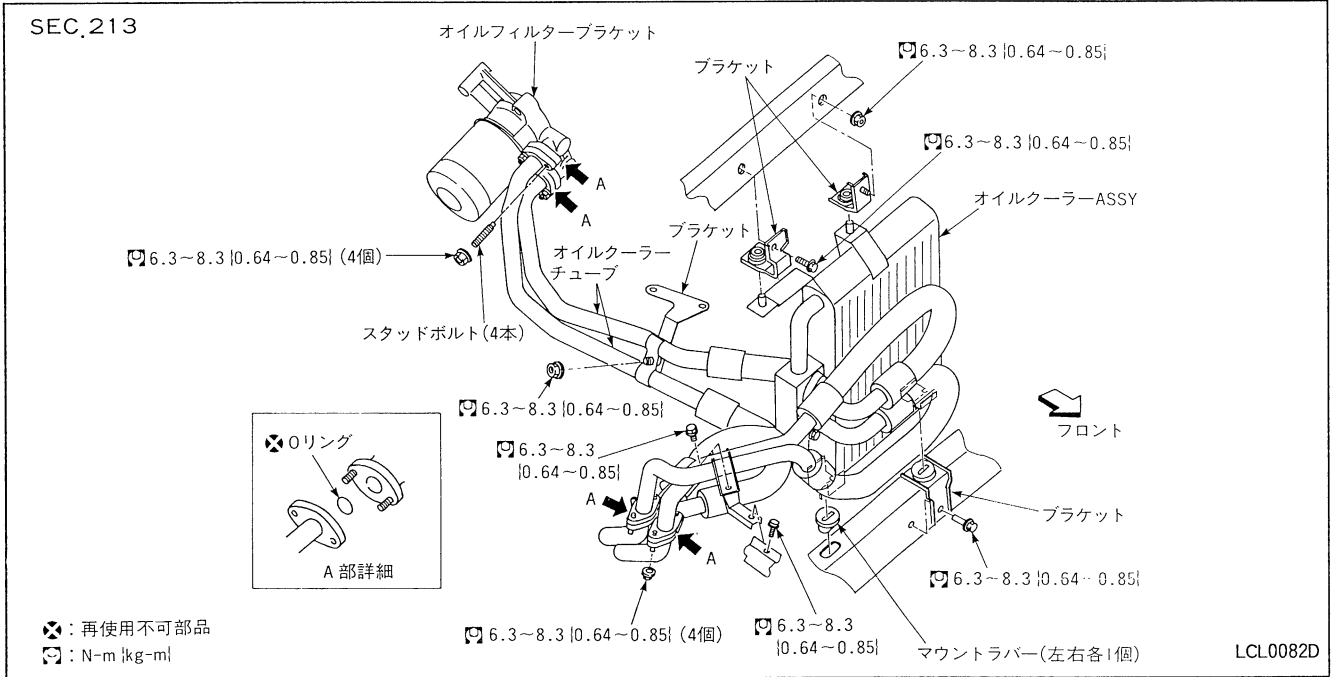
7. エンジン油量を点検する。

(「MA編点検整備要領潤滑装置」の項参照)

8. エンジンを始動し、エンジンオイルの漏れがないか点検する。

(「MA編点検整備要領潤滑装置」の項参照)

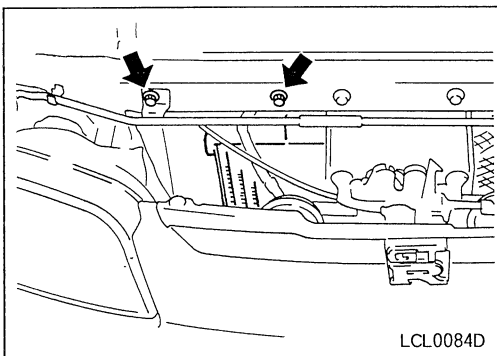
9. 冷機後、再度エンジン油量を点検し、不足していれば補充する。



N1仕様車

取り外し

1. トランクルーム内のバッテリーマイナス端子を外す。
2. フロントスポイラーアンダーカバーを取り外す。
 (「BE編フロントスポイラー」の項参照)
3. アンダーカバーを取り外す。
4. ラジエータードレインプラグから冷却水を抜き取る。
5. ラジエーターを取り外す。
 (「LC編ラジエーター」の項参照)
6. オイルチューブをオイルクーラー側で外す。
 - オイルチューブ側及びオイルクーラー側にめくら栓を取り付ける。



7. 左右オイルクーラーマウントブラケット (アッパー) の取付ボルト、ナットを取り外す。
8. エンジンルーム側からオイルクーラーを取り外す。
 注意 : オイルクーラーコア部に傷をつけないよう取り外す。

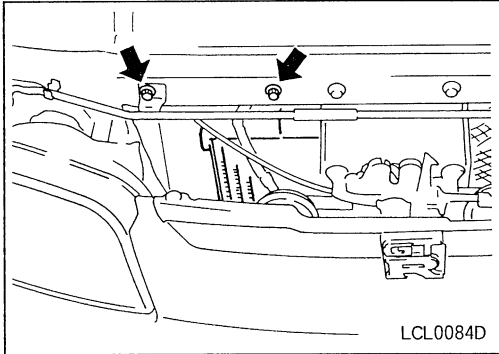
点検

オイルクーラー目視点検

- オイルクーラーコア部に傷、破損がないか点検する。
- 異常のある場合はオイルクーラーを交換する。

オイルホース目視点検

- オイルホースに傷、き裂がないか点検する。
- 異常のある場合はオイルホースを交換する。



取り付け

1. オイルクーラーを取り付ける。

- (1) マウントブラケット（アッパー）をオイルクーラーに取り付ける。
- (2) エンジンルーム側からオイルクーラーを取り付ける。
 - 下側のグロメットを取付穴に確実に入れる。
- (3) マウントブラケット（アッパー）の取付ボルト、ナットを締め付ける。

締付トルク (N-m {kg-m}) : 6.3 ~ 8.3 {0.64 ~ 0.85}

注意 : オイルクーラーコア部に傷をつけないように取り付けます。

2. オイルチューブを接続する。

- Oリングは新品と交換する。

締付トルク (N-m {kg-m}) : 6.3 ~ 8.3 {0.64 ~ 0.85}

3. 以下は取り外しと逆の手順で取り付けます。

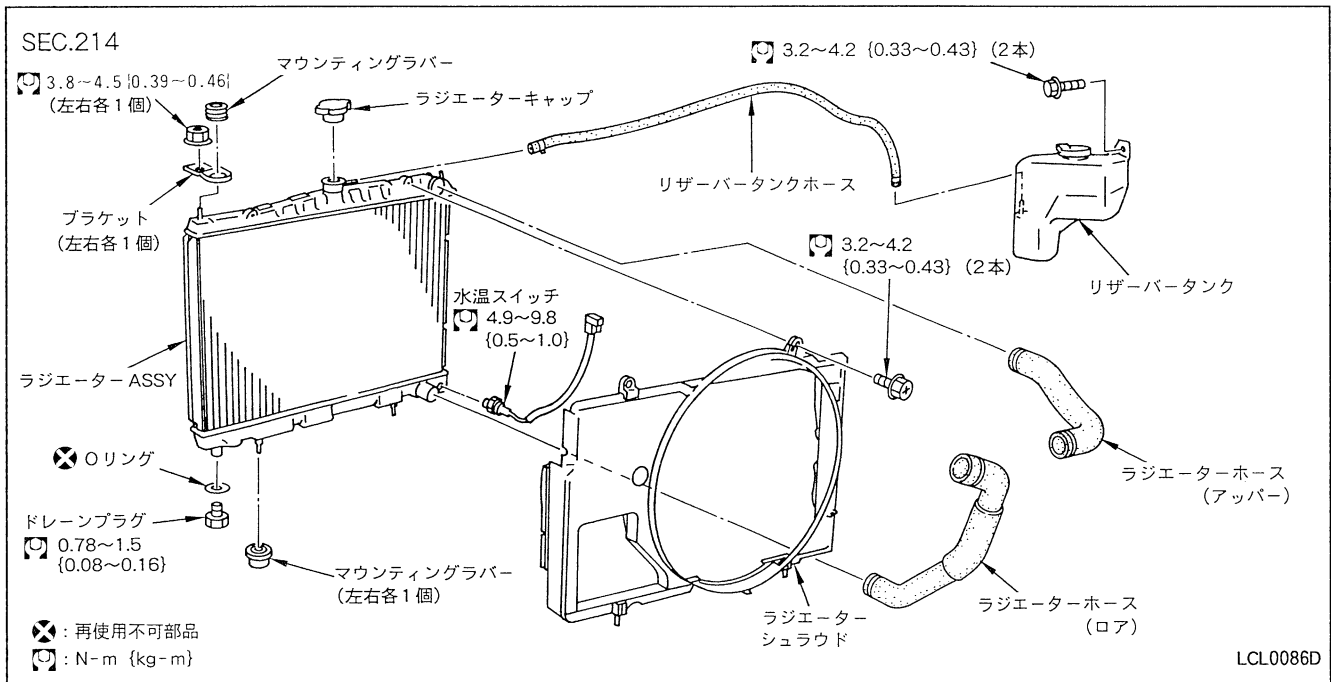
4. エンジン油量を点検する。

(「MA編点検整備要領潤滑装置」の項参照)

5. エンジンを始動し、エンジンオイルの漏れがないか点検する。

(「MA編点検整備要領潤滑装置」の項参照)

6. 冷機後、再度エンジン油量を点検し、不足していれば補充する。

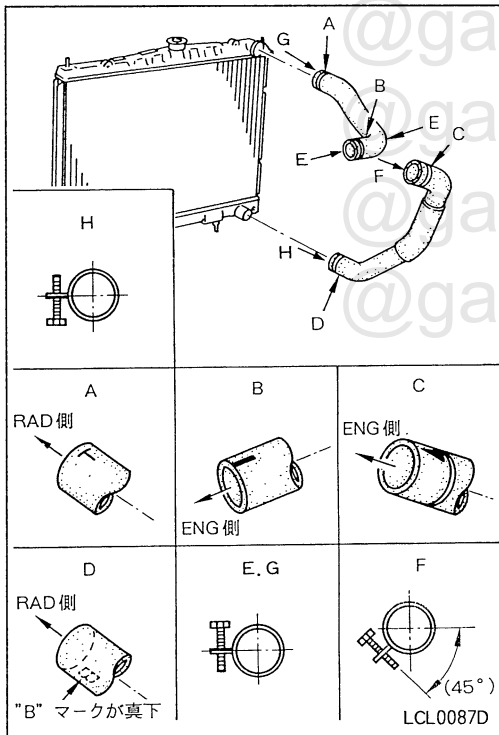


取り外し

1. トランクルーム内のバッテリーマイナス端子を取り外す。
 2. 冷却水をラジエータードレインプラグから抜き取る。
(「MA編交換部品整備要領冷却水」の項参照)
 3. エアダクト (外気導入側) を取り外す。
(「EM編エアダクト、エアクリーナー」の項参照)
 4. リザーバータンクホースをラジエーター側で外す。
 5. ラジエーターアッパーホース、ロアホースを取り外す。
- 注意：オルタネーター等電装品に冷却水がかからないよう注意する。
6. 水温スイッチハーネスコネクターを外す。
 7. ラジエーターアッパーマウントブラケット (左右) を取り外す。
 8. ファンシュラウド取付ボルトを外し、ファンシュラウドをクーリングファン側へ移動する。
 9. ラジエーターASSYを取り外す。
 - ラジエーターコアに傷をつけないよう注意して取り外す。
 10. ファンシュラウドを取り外す。
 11. ラジエーターから水温スイッチを取り外す。

取り付け

1. ラジエーターに水温スイッチを取り付ける。
締付トルク (N-m [kg-m]) : 4.9 ~ 9.8 {0.5 ~ 1.0}
2. クーリングファンにファンシュラウドを仮置きする。
3. ラジエーターASSYを取り付ける。
 - ラジエーターコアに傷をつけないよう注意する。
4. ラジエーターアッパーマウントブラケット (左右) を取り付ける。
締付トルク (N-m [kg-m]) : 3.8 ~ 4.5 {0.39 ~ 0.46}
5. 水温スイッチハーネスコネクタを取り付ける。
6. ラジエーターにファンシュラウドを取り付ける。
締付トルク (N-m [kg-m]) : 3.2 ~ 4.2 {0.33 ~ 0.43}
 - ラジエーターコアに傷をつけないよう注意する。
 - シュラウド取付ボルトは純正品以外使用しないこと。

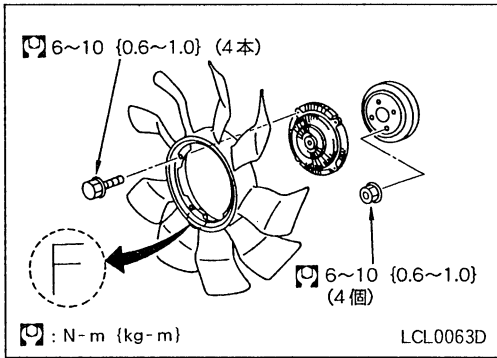


7. ラジエーターホースを取り付ける。
 - ホース端部の合いマークが左図の方向を向くよう取り付ける。
 - クランプは以下のトルク又はボルトの締付残量が10~12mmになるよう締め付ける。
締付トルク (N-m [kg-m]) : 2.0 ~ 2.2 {0.20 ~ 0.22}

8. 以下は取り外しと逆の手順で取り付けます。
 - 冷却水の注水は、「MA編交換部品整備要領冷却水」の項参照のこと。

点検

- 冷却水の量を点検し、不足していれば補充する。
- エンジンを始動し、冷却水の漏れがないか点検する。



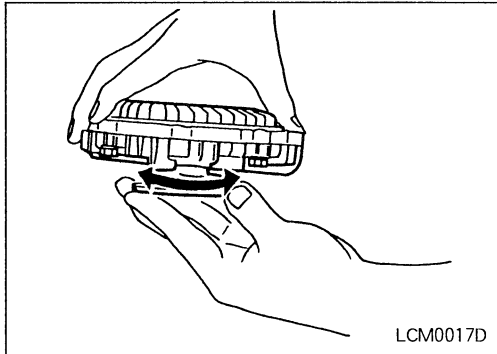
取り外し

1. トランクルーム内のバッテリーマイナス端子を外す。
2. エアダクト（外気導入側）を取り外す。
（「EM編エアクリーナー、エアダクト」の項参照）
3. クーリングファン取付ナットを緩める。
4. ファンベルトを緩める。
（「MA編主な点検調整要領補機ベルト」の項参照）
5. 取付ナットを取り外し、クーリングファンASSYを取り外す。
6. 取付ボルトを取り外し、カップリングからファンを取り外す。

点検

カップリング点検

- シリコンオイルの漏れ、バイメタルの曲がりがないか点検する。



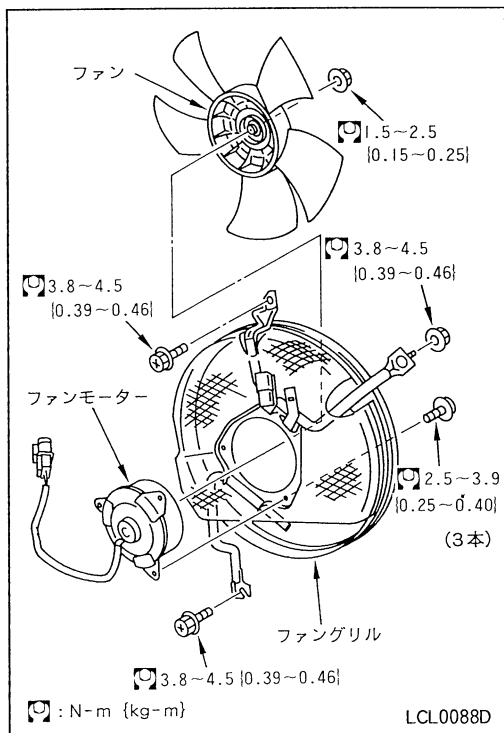
クーリングファン点検

- き裂、損傷等がないか点検する。

取り付け

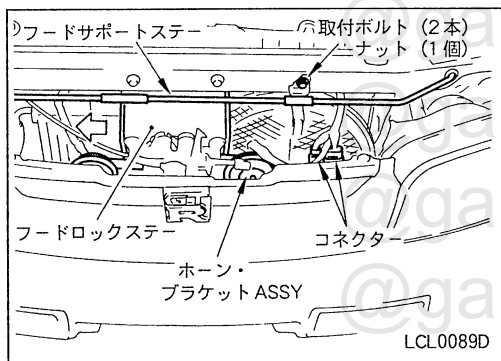
取り付けは、下記の作業に注意し取り外しと逆の手順で取り付ける。

- ファンはフロントマークを前方にしてカップリングに取り付ける。
締付トルク (N-m {kg-m}) : 6 ~ 10 {0.6 ~ 1.0}
- ファンベルトの張り調整をする。
（「MA編主な点検調整要領補機ベルト」の項参照）



取り外し

1. トランクルーム内のバッテリーマイナス端子を外す。
2. フロントスポイラーアンダーカバーを取り外す。(N1仕様車)
(「BE編フロントスポイラー」の項参照)
3. アンダーカバーを外す。
4. フードサポートステーを取り外す。
(「スカイラインR33型整備要領書 (A006023) OC編フード」の項参照)
5. 左側ホーン・ブラケットASSYを取り外す。
(「スカイラインR33型整備要領書 (A006023) BEL編ホーン」の項参照)



6. フードロックステー取付ボルトを外し、フードロックステーを車両右側へ移動する。
(「スカイラインR33型整備要領書 (A006023) OC編フードロックコントロール」の項参照)
7. 補助電動ファンハーネスコネクタを外す。
8. 取付ボルト (上下各1本) 及び取付ナット (各1個) を取り外し、補助電動ファンを上から抜き出す。

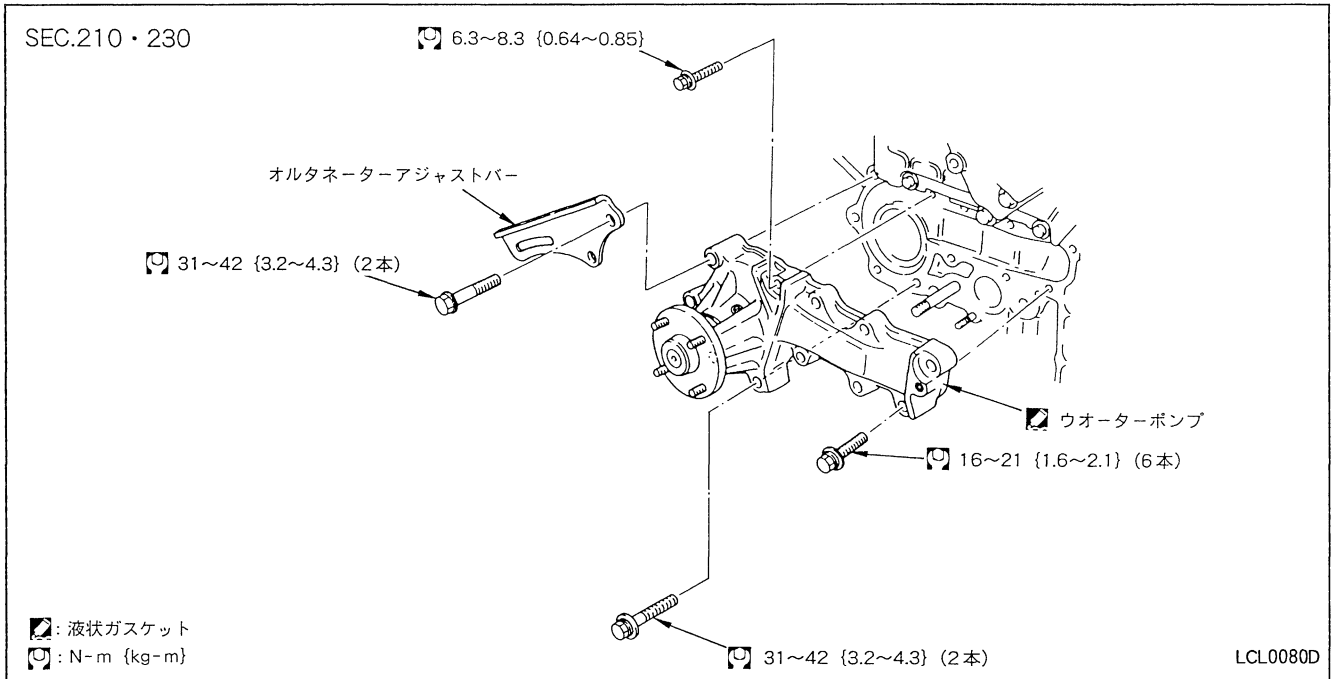
参考： 下側取付ボルトは緩めた状態で補助電動ファンは脱着可能である。

注意： エアコンコンデンサーに傷をつけないよう取り外す。
(エアコン装着車)

9. ファンモーターからファンを取り外す。
10. ファングリルからファンモーターを取り外す。

取り付け

1. ファングリルにファンモーターを取り付ける。
締付トルク (N-m [kg-m]) : 2.5 ~ 3.9 [0.25 ~ 0.40]
2. ファンモーターにファンを取り付ける。
締付トルク (N-m [kg-m]) : 1.5 ~ 2.5 [0.15 ~ 0.25]
3. 補助電動ファンを取り付ける。
注意： エアコンコンデンサーに傷をつけないよう取り付ける。
締付トルク (N-m [kg-m]) : 3.8 ~ 4.5 [0.39 ~ 0.46]
4. 補助電動ファンハーネスコネクタを取り付ける。
5. 以下は取り外しと逆の手順で取り付ける。



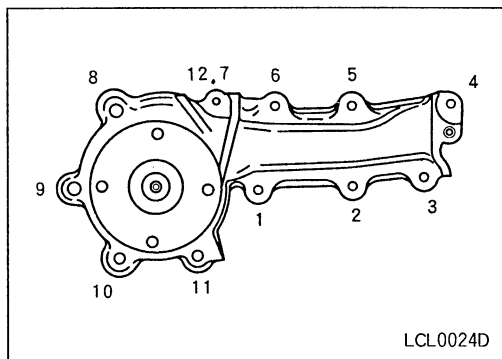
取り外し

1. トランクルーム内のバッテリーマイナス端子を取り外す。
2. エアダクト（外気導入側）を取り外す。
 (「EM編エアクリナー、エアダクト」の項参照)
3. フロントスポイラーアンダーカバーを取り外す。(N1仕様車)
 (「BE編フロントスポイラー」の項参照)
4. アンダーカバーを取り外す。
5. 冷却水をラジエータードレインプラグから抜き取る。
6. 冷却水をシリンダーブロックドレインプラグから抜き取る。
 (「MA編交換部品整備要領冷却水」の項参照)
7. クーリングファンを取り外す。(「クーリングファン」の項参照)
8. ラジエーターを取り外す。(「ラジエーター」の項参照)
9. 補機ベルトを取り外す。
 (「MA編主な点検調整要領補機ベルト」の項参照)
10. ウォーターポンププーリーを取り外す。
11. タイミングベルトを取り外す。
 (「MA編交換部品整備要領タイミングベルト」の項参照)
12. テンショナープーリーを取り外す。
 (「MA編交換部品整備要領タイミングベルト」の項参照)
13. テンショナープーリー、アイドルプーリーを取り外す。
 (「MA編交換部品整備要領タイミングベルト」の項参照)
14. オルタネーターアジャストバーを取り外す。

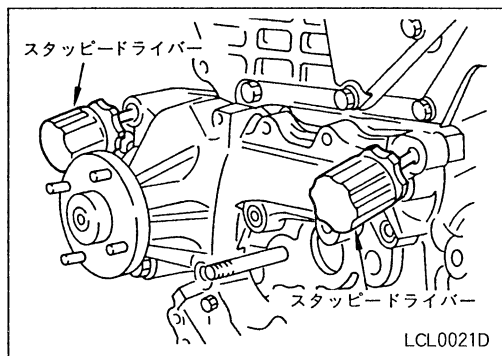
取り外し (続き)

15. 左図の番号順に取付ボルトを取り外す。

16. ウォーターポンプを取り外す。



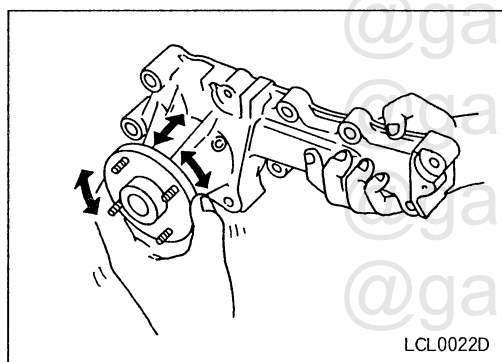
LCL0024D



LCL0021D

- スタッピードライバー等を取付ボルト穴に差し込み、上下に振って取り外す。

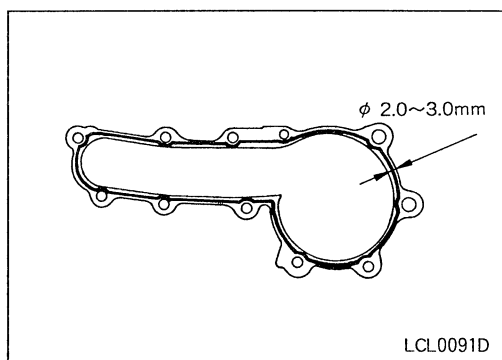
注意： シリンダーブロック側のネジ部を損傷しないよう注意する。



LCL0022D

点検

- ウォーターポンプ本体及びベーンに著しいさびや汚れの付着がないこと。
- ウォーターポンプにガタがないこと。
- 異常のある場合はウォーターポンプを交換する。



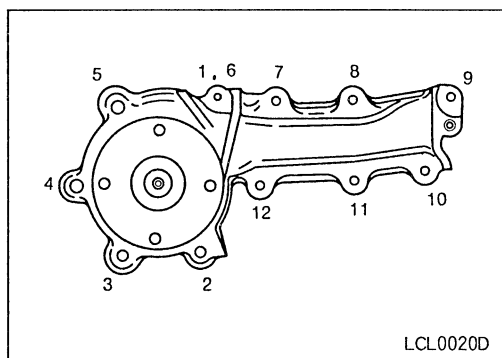
LCL0091D

取り付け

参考： 標準車とN1仕様車ではベーン径等仕様が異なる。

1. ウォーターポンプを取り付ける。
- スクレーパーを用いてウォーターポンプ及びシリンダーブロックの取付面に付着した古い液状ガスケットを取り除く。
- ホワイトガソリンで取付面を清掃する。
- 左図の位置にスリーボンド1218B (KP710 00150) をφ2.0~3.0mmで切れ目なく塗布する。

(「EM編作業上の注意、液状ガスケット塗布要領」の項参照)



LCL0020D

- 左図の番号順に取付ボルトを締め付ける。
- 左図の4、5はオルタネーターアジャストバーと共締めである。

参考： 左図の1、6は2度締めを示す。

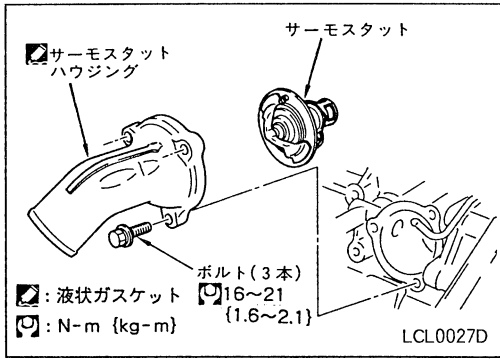
- 取付位置によりボルト寸法が異なるので注意する。

M6ボルト： 左図1 (6)

M8ボルト： 左図7、8、9、10、11、12

M10ボルト (短い)： 左図2、3

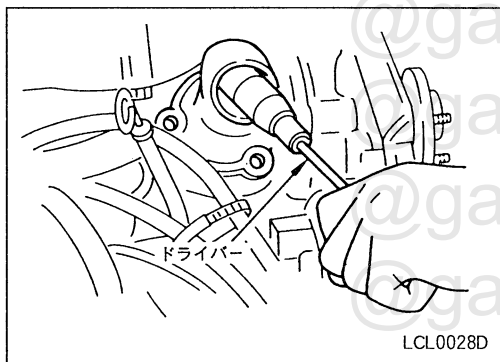
M10ボルト (長い)： 左図4、5



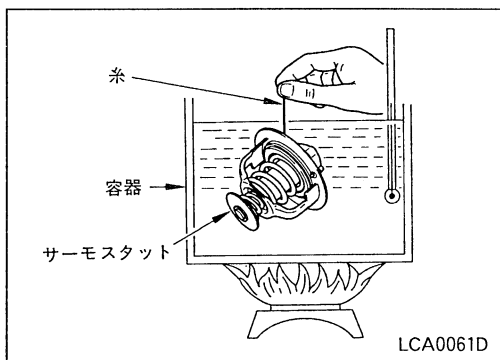
取り外し

1. トランクルーム内のバッテリーマイナス端子を取り外す。
2. 冷却水をラジエータードレインプラグから抜き取る。
3. 冷却水をシリンダーブロックドレインプラグから抜き取る。
(「FMA編交換部品整備要領冷却水」の項参照)
4. オルタネーターベルトを外し、オルタネーターを下側に移動する。
(「FMA編主な点検調整要領補機ベルト」の項及び「EEL編オルタネーター」の項参照)
5. オルタネーターアジャストバーを取り外す。
(「EEL編オルタネーター」の項参照)
6. ラジエーターロアホースをサーモスタットハウジング側で外す。
(「ラジエーター」の項参照)

注意：オルタネーターに冷却水がかからないよう注意する。



7. ウォーターインレットを取り外す。
 - ドライバーの柄等をサーモスタットハウジングに差し込み、上下に振って取り外す。
8. サーモスタットを取り外す。



点検

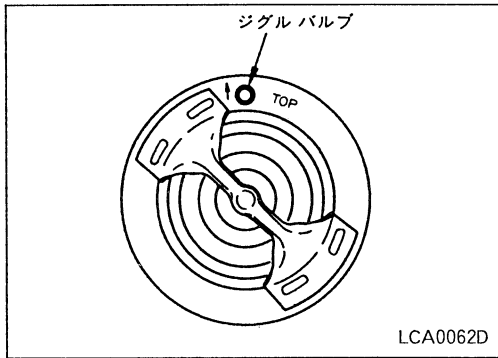
サーモスタット点検

- サーモスタットのバルブ部に糸をはさみ、水を入れた容器に入れ、かくはんしながら加熱する。
- サーモスタットが糸から外れ落ちたときの水温が開弁温度である。
 開弁温度基準値 (°C) : 76.5
 全開リフト量基準値 (mm/°C) : 10以上/90
- 基準値を外れた場合はサーモスタットを交換する。

取り付け

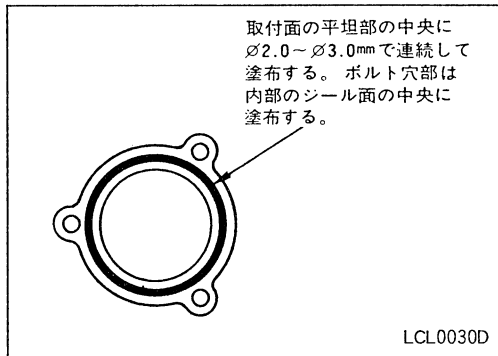
1. スクレーパーを用いてウォーターインレット及びシリンダーブロックの取付面に付着した古い液状ガスケットを取り除く。
- ホワイトガソリンで取付面を清掃する。

取り付け (続き)



2. サーモスタットを取り付ける。

- ジグルバルブ (TOPマーク) 側が上になるよう取り付ける。



3. ウォーターインレットを取り付ける。

- 左図の位置にスリーボンド1218B (KP710 00150) をφ2.0~3.0 mmで切れ目なく塗布する。

(「EM編作業上の注意、液状ガスケット塗布要領」の項参照)

締付トルク (N-m {kg-m}) : 16 ~ 21 {1.6 ~ 2.1}

4. 以下は取り外しと逆の手順で取り付け。

- 冷却水の注入は、「MA編交換部品整備要領冷却水」の項参照のこと。
- 5. 冷却水量を点検する。

(「MA編点検整備要領冷却装置」の項参照)

6. エンジンを始動し、冷却水の漏れがないか点検する。

(「MA編点検整備要領冷却装置」の項参照)

7. 冷機後、再度冷却水量を点検し、不足していれば補充する。

M E M O

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused